

食の大切さに理解を



カレーライス作りに取り組んだ食育プロジェクト

八学短大生 鮫保育園で園児とカレー作り

八戸

八戸市の「はっち」で子ども食堂を運営する八戸学院大短期大学の学生は24日、同市の鮫保育園(田中

幸子園長)で食育プロジェクトを開き、子どもたちが調理実習を通して食の大切さを学んだ。幼児保育学科の2人と、ライフデザイン学科の3人

が同園を訪れた。野菜に関する歌を歌ったり、ジャガイモの栽培方法について学習したりして交流を深めた後、調理を開始。年長の9人が、皮むき器や包丁、フライパン、電子レンジを使いながら、カレーライス作りに挑戦した。

調理を終え、鍋のふたを開けると教室中に香ばしい香りが。園児たちは「おいしそう」「早く食べたい」と目を輝かせた。

学生のアドバイスを受けながら、ニンシンの皮をむき、乱切りに一生懸命取り組んだ白川麗菜ちゃん(5)は「野菜が軟らかくておいしい」と完食した。

同短大の佐藤美咲さん(2年)は「普段食べている物がどのようにできているか目を向けてほしい。家でも料理のお手伝いをするようになれば」と願った。

(瀬戸麻理乃)